

デジタル・イメージング技術部会 講演要旨

開催日：2018年3月14日（水）＜2017-4 ②＞

テーマ：「テレセントリックレンズを採用した大型イメージスキャナの開発について」

講演者：一ノ瀬修一氏（アイメジャー株式会社 代表取締役社長）

デジタルアーカイブの動きが活発である。高精細かつ巨大な画素数の画像を得たり閲覧する環境が整ってきた。しかし、画像入力装置に関しては、まだ課題が有る。例えば、1メートルを超える寸法の古地図を、そのまま正確に取り込むために必要となる光学解像度にて複写撮影するケースでは、デジタルカメラを使う場合、分割撮影、画像処理ソフトによるつなぎ合わせ作業、ならびに画像つなぎ境界線での明度差を消す調整作業が必須であった。

本講では、弊社が独自開発した特殊大型イメージスキャナ、オルソスキャナについて紹介した。テレセントリックレンズを採用したことで、主に二つの特徴を有する。ひとつは、1万対1の寸法精度を達成した。その結果、高い寸法精度を保ったまま、完全自動での画像接合が可能となった。もうひとつは、深度合成画像の製作も、ほぼ自動で行なうことである。今後は、大型図面のアーカイブ、大型絵図、日本刀などに対象を拡げていきたい。